

JR室蘭線の取り組みについて

～鉄道等に対する沿線住民の皆さんのご理解とご利用が必要です～

JR室蘭線（岩見沢-沼ノ端間）はJR単独では維持困難な線区として指定され、鉄道を持続的に維持確保する仕組みの構築が必要な線区となっています。

JR室蘭線活性化連絡協議会（岩見沢市、栗山町、由仁町、安平町、苫小牧市）では、これまでも情報発信や観光列車などに取り組んできたところですが、令和5年度は国や道の支援制度を活用し、JR北海道やあつまバスとともに「沿線住民の日常的な利用促進」と「観光者等の外需の取り込みによる利用促進」の両面から調査・実証事業等の取り組みを実施します。

室蘭線をはじめとした「将来にわたって持続可能な公共交通の実現」に向け、沿線住民の皆さんのご理解とご利用をお願いします。

1. JR室蘭線活性化連絡協議会における令和5年度の主な取り組み

(1) 調査・実証事業

①公共交通利用実態調査

鉄道等の認知度・利便性向上等に向け、利用実態やニーズ等を調査します。
安平町においては150人を対象にアンケート調査を実施します。

詳細はこちら



②鉄道・バス共通時刻表

今号別冊として配布。「苫小牧方面への移動（往復）」に特化したものになっています。
岩見沢方面への鉄道・バス共通時刻表が必要な方は政策推進課へご連絡いただければ郵送等の対応をさせていただきます。

③JR室蘭線定期券利用者の沿線バス無料乗車（7月29日～9月30日）

定期券利用者を対象に、沿線のあつまバス（早来駅前～苫小牧駅間）と安平町循環バスに無料乗車できる付加価値をつけ、鉄道・バスの併用促進を図ります。

④室蘭線・日高線カードラリー（7月29日～9月30日）

観光による利用促進を目的に「一日散歩きっぷ（土日祝に札幌圏で発売）」に室蘭線・日高線沿線のバスに無料で乗車できる付加価値をつけるとともに、沿線市町のカードラリー参加店舗を利用し切符等を提示することで「ご当地カード」を進呈。回遊性の向上を図ります。



(2) その他継続事業

SNSや広報紙による沿線市町事業等の情報発信、観光列車の活用など

2. 安平町における令和5年度の主な取り組み

(1) 町民ノーマイカー運動「JR室蘭線で行こう！うまかまつり」

JR室蘭線来場者にまつりクーポンを配布。まつり初日で予定分の250人分を超え、もらえない人も出るほど盛況となり2日目分を急遽追加。2日間で341名が乗車来場しました。

(2) 職員ノーマイカー運動

役場職員の通勤において月1回以上、札幌や苫小牧等への出張時にも鉄道等を利用しています。

(3) 鉄道等利用促進活動費助成金・室蘭線の旅モデルプラン

JR室蘭線（岩見沢～苫小牧間）を利用する4名以上のグループ旅行に対して運賃や町内飲食費等を補助します。ウポポイ旅行など企画の参考となるモデルプランも提供しています。

(4) JRきっぷ代金など町内全ての公共交通で使用できる共通回数乗車券の発行、購入額の10%をポイントあびらに付与

(5) 追分高校の全生徒を対象にJR通学定期券代を全額補助 など

年間10億円を超える民間事業者による室蘭線という公益事業を私たち住民が活かさない手はありません。
乗って守ろう！生活やまちづくりに活かそう！私たちの公共交通を！

問合せ（安平町の公共交通相談窓口） 政策推進課政策推進グループ ☎2751